

香川県環境基本計画等の概要について

環境森林部

- 1 香川県環境基本計画
- 2 香川県みどりの基本計画
- 3 香川県地球温暖化対策推進計画
- 4 香川県循環型社会推進計画
(旧：香川県廃棄物処理計画)

- 1 香川県環境基本計画

香川県環境基本計画の概要

1 計画策定の趣旨

本県の環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために策定する。

2 計画の位置づけ・性格

- ・「『人生100年時代のフロンティア県・香川』実現計画」の環境に関する分野別計画
- ・香川県環境基本条例第9条に基づく計画
- ・環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律第8条に基づく「環境教育等の推進に関する行動計画」として、また、生物多様性基本法第13条に基づく「生物多様性地域戦略」として位置付け

3 計画の期間

令和8(2026)年度から令和12(2030)年度までの5年間

4 計画の対象範囲

環境全般

※緑化の推進とみどりの保全を総合的かつ計画的に推進するものは、「香川県みどりの基本計画」で取り扱う。

5 将来像

環境と成長の好循環が図られるグリーン社会の実現

施策区分	施策の柱
大項目	中項目
【各分野にまたがる 基盤整備・地域づくり】	1-1 環境を身近に感じ、学び、行動する人づくりの推進
1 環境を守り活かす 人づくり・地域づくりの推進	1-2 環境と成長の好循環につながる地域づくりの推進
	1-3 地域環境資源の充実と活用の推進
【地球環境分野】	2-1 温室効果ガスの削減を図るための対策 (緩和策)
2 地球温暖化対策の推進	2-2 気候変動の影響に備えるための対策 (適応策)
【資源循環分野】	3-1 循環型社会づくりの推進
3 循環型社会の推進	3-2 廃棄物の適正処理の推進
	3-3 災害廃棄物処理対策の推進
	3-4 水循環の促進
【自然環境分野】	4-1 生物多様性の価値の理解と行動
4 自然と共生する地域づくりの 推進	4-2 生態系の健全性の回復
	4-3 自然を活用した社会課題の解決
	4-4 農地等の保全と持続的活用
【生活環境分野】	5-1 大気環境の保全
5 安全・安心な生活環境の保全	5-2 水環境、土壌・地盤環境の保全
	5-3 騒音・振動・悪臭・化学物質対策等の推進

基本的な考え方

環境と成長の好循環によるグリーン社会の実現に向けて

・「GX(グリーン・トランスフォーメーション)」など、新たな視点を取り入れつつ、コロナ禍以降の社会経済情勢の変化も踏まえ、環境保全施策により積極的に取り組むことで、「環境と成長の好循環」の流れを作り、環境、経済、社会が調和する「グリーン社会」の実現をめざす。

環境を守り活かす人づくり、そして地域づくりに向けて

・将来にわたって人間が豊かに生きていくために、県民一人ひとりが環境保全に対する意識を高め、主体的に取り組む「人づくり」とともに、その取組みが地域に根差したものとなるよう、県民・事業者・民間団体・行政などあらゆる主体が連携・協働する「地域づくり」も推進する

環境課題の解決とSDGsの目標達成に向けて

・持続可能な社会の実現をめざして、地球温暖化対策の推進、循環型社会の推進、自然と共生する地域づくりの推進、安全・安心な生活環境の保全を柱とする環境基本計画に基づき、各施策を推進することにより、私たちが直面している気候変動や資源の枯渇、生物多様性の損失、海洋・大気汚染といった環境課題の解決を図り、SDGsの目標達成にも貢献していく。

主な施策展開（各分野にまたがる基盤整備・地域づくり）

施策展開		取組内容
1-1-2 誰もが環境を学べる機会の充実	イ) 家庭・職場・地域における環境学習の機会の提供	家庭、職場、地域などあらゆる場において、子どもから大人までだれもが環境について学ぶ機会を提供するため、環境学習プログラムや出前講座など、環境学習ができる機会を充実させる。
1-2-1 環境と成長が好循環する事業活動の促進	ア) 環境産業の振興	県内ものづくり企業の脱炭素化を推進するため、技術支援、材料分析技術の高度化を図るとともに、エネルギー関連分野への進出をめざす事業者への展示商談会出展支援などを実施し、GX関連産業の振興・育成を図る。
	イ) 環境と好循環した農林水産業の振興	成長の早いエリートツリーやICT（情報通信技術）等の新たな技術を活用した森林施業コストの低減に向けた取組みの普及啓発・支援を行うとともに、利用期を迎えた「かがわヒノキ」等の森林資源の循環利用を進め、持続可能な森林経営の確立を図る。
1-3-2 里海づくりの推進	イ) 里海づくりを牽引する人材の育成・活用	「かがわ里海大学」において、里海づくりを牽引する人材を育成するとともに、里海ガイドやファシリテーター等の活躍の場や交流の場を設けるなど、かがわ里海大学を「学びの場」や「交流の場」として活用し、「里海づくり」を広げる。
1-3-3 自然や景観等を生かした地域資源の活用	ア) 県立公園等の再生・整備・管理	自然や景観など、地域資源の「強み」を活かし、拠点となる施設の環境整備や積極的な情報発信を行うことで、地域資源への関心を高め、新たな需要を創出し、周辺地域も含めた地域全体の「にぎわい」につなげる。

主な施策展開（地球環境分野）

施策展開		取組内容
2-1-2 再生可能エネルギーの導入促進	ア) 太陽光エネルギーの最大限活用	新築 ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス） や自家消費型太陽光発電設備、蓄電池の設置への補助、初期費用ゼロの第三者所有モデル（PPA）の普及を啓発するとともに、事業者向け補助金や県有施設への整備支援など、多様な手法で太陽光発電の導入を促進する。
2-1-3 吸収源対策の推進	ア) 森林や藻場を生かした吸収源対策の推進	国や県の補助制度を活用し、間伐や造林、保安林の管理、担い手の育成、広葉樹林や里山の整備、森林所有者の支援、水源林の除間伐助成などを通じて、CO ₂ 吸収源拡大や自然環境の保全に資する森林整備を推進する。
2-1-4 脱炭素成長型経済構造への移行促進	ア) 次世代エネルギーの利活用	幅広い分野での水素利用拡大に向け、関係団体と連携し導入可能性を検討するとともに、技術動向の情報収集、企業向け勉強会の開催、水素ステーションやFCVの普及啓発などを通じて、 水素等次世代エネルギー の利用促進を図る。
2-2-1 気候変動適応策の推進	イ) 熱中症対策の推進	県内市町及び事業者等との連携を強化することで、地域の関係主体における自主的かつ主体的な取組みにつなげるため、広域的な 熱中症対策 を推進する。

※個別計画として「地球温暖化対策推進計画」を策定

主な施策展開（資源循環分野）

施策展開	取組内容
3-1-1 3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進	ア) 2R（リデュース、リユース）を意識した3Rの普及啓発・取組みの推進 家庭及び事業所から排出されるごみの減量化やリサイクルの推進を図るため、県民や事業者に対して、3Rに関する先進的な取組事例などを情報提供するとともに、 環境にやさしいライフスタイルへの転換 を呼びかけます。
3-1-2 プラスチック資源循環の推進	ア) 事業者におけるプラスチック資源循環の推進 再生プラスチック・バイオプラスチックの利用 を推進するため、新素材・高機能材料等の開発・利用技術に加え、LCA（ライフサイクルアセスメント）による環境負荷の評価支援などに関する技術支援や啓発を行うとともに、再生プラスチック・バイオプラスチック製品の正しい理解に向け、消費者への普及啓発に努める。
3-1-3 食品ロス削減の推進	ア) 教育や普及啓発の推進 フードドライブ活動は、 食品ロスの削減 に直結するものであることから、認知度の向上やフードドライブ活動への理解の促進に取り組む。また、フードバンク団体と連携を図り、フードドライブ活動を実施するとともに、同活動に必要な資材の貸出し支援を行う。

※個別計画として「循環型社会推進計画」を策定 5

主な施策展開（資源循環分野）

施策展開		取組内容
3-2-2 不法投棄対策の推進	ア) 不法投棄や野外焼却対策の強化	不法投棄や野外焼却については、廃棄物110番や環境監視員制度などを活用して、広く県民から情報提供を受け付けるとともに、市町や関係機関と連携して、 情報収集や監視指導体制の拡充に努め、早期対応 を図る。
3-3-1 災害廃棄物処理対策の推進	ア) 大規模災害に備えた災害廃棄物処理体制の充実・強化	香川県災害廃棄物処理計画や香川県災害廃棄物処理行動マニュアルが、より実効性の高いものとなるよう、 災害廃棄物処理広域訓練 で明らかになった課題や被災自治体の取組状況を踏まえた見直しを行う。

※個別計画として「循環型社会推進計画」を策定 6

主な施策展開（自然環境分野）

施策展開		取組内容
4-1-1 自然共生サイトへの 取組みの促進	イ) 県、市町、民間団体等における 自然共生サイト認定の促進	生物多様性の保全の実現に向けて、国が掲げる「 30by30目標 」の達成のために、さまざまな主体が連携し、生物多様性の保全が図られた区域の「自然共生サイト」への取組みを促進し、社会全体で 生物多様性の保全 と持続可能な利用を推進する。
4-2-2 外来種対策の促進	ア) 外来種対策の推進と普及啓発	外来種による生活環境被害や農林水産業被害の防止と、県内の生態系の保全を図るため、侵略的外来種リストに掲載された外来種を対象に、対策の必要性和実効性の観点からの優先度を踏まえ、国や市町、民間団体等と連携した適切な防除対策に取り組む。また、外来種に対する正しい理解を深めてもらえるよう普及啓発に取り組む。
4-3-1 有害鳥獣対策の推進	イ) 鳥獣被害に強い地域づくりと人材育成	若者や女性を対象とした狩猟免許取得の入門講座や、狩猟初心者から捕獲経験者まで段階にあわせた捕獲技術講習会などの開催により、将来にわたって 有害鳥獣対策 を実践する担い手の確保・育成を図る。
4-3-3 人と自然の触れ合いの 確保	ア) まちかど生き物標本展及び フィールド講座の開催	地域の身近な生き物や自然の素晴らしさ、面白さを体感できる機会を提供し、生き物や自然を守っていくことの大切さの理解を得るため、県内の研究者が収集・保管している標本を活用した「まちかど生き物標本展」や香川の自然を親しむフィールド講座の開催による普及啓発を実施する。

主な施策展開（生活環境分野）

施策展開		取組内容
5-1-2 大気汚染物質の発生源対策等の推進	ア) 工場・事業場に対する排出規制の推進	大気汚染防止法や香川県生活環境の保全に関する条例、公害防止の覚書等に基づき、規制基準等を遵守するよう、工場・事業場に対する規制・指導を徹底する。
5-2-2 水質汚濁発生源対策の推進	イ) 工場・事業場に対する排出規制の推進	瀬戸内海環境保全特別措置法や水質汚濁防止法等に基づき、排水基準等を遵守するよう、工場・事業場に対する規制・指導を徹底する。
5-2-3 水環境の保全対策の推進	イ) 海域への栄養塩類増加措置の実施	本県海域における 生物の多様性 と 水産資源の持続的な利用の確保 の課題に対応するため、香川県栄養塩類管理計画に基づき、下水処理場が季節別運転管理を実施し、効果検証を行う。
5-2-4 土壌・地盤環境の保全対策の推進	ア) 土壌汚染防止対策の推進	一定規模以上の土地の形質変更時等に土壌汚染が判明した場合は、汚染の除去等の適切な措置の指導を徹底する。土地開発に伴う土砂等を使用した埋立て等に対する規制を行うことで、土壌汚染を防止し、生活環境の保全を図る。
5-3-1 騒音・振動・悪臭防止対策の推進	ア) 騒音・振動対策の推進	自動車による交通騒音の監視を行うとともに、高松空港周辺地域における航空機騒音調査や本州四国連絡橋の鉄道騒音調査を実施する。